

リハビリテーション科

研修指導者名

下堂 蘭 恵 衛藤 誠二 吉田 輝 松元 秀次 宮田 隆司 有馬 美智子 大濱 倫太郎

メッセージ

鹿児島大学リハビリテーション科には霧島リハビリテーションセンター（霧リハ）と鹿児島大学病院（本院）の2つの診療拠点があり、それぞれ病院の特色を生かして各種疾患の急性期から回復期・維持期までのリハビリテーションを行っています。

リハ医はリハ処方や検査（嚥下造影、嚥下内視鏡、膀胱機能検査等）、治療（薬物療法、神経ブロック注射、装具処方等）を行うのみでなく、自らも患者の訓練を行い、PT、OT、ST、Ns、MSWなど他のmedical staffと協働してリハを行い、リハチームの中心となる能力を身につけます。

急性期・回復期・維持期（慢性期）のリハビリテーションに必要な評価・診断・計画・治療を行えるようになることはもちろん、病院や在宅では小児から終末期まで、先進的治療では神経再生・ニューロリハビリテーションやロボティクスを用いたリハビリテーションまで、幅広く活躍できるリハ医の育成を行っています。

	霧島リハビリテーションセンター (霧リハ)	鹿児島大学病院 (本院)
病床数	50床(回復期リハ 26床, 一般 24床)	715床
診療担当科	リハビリテーション科	各診療科あり(詳細は大学病院HPIに)
住所	鹿児島県霧島市牧園町高千穂3930-7	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
リハの特色	<ul style="list-style-type: none"> 回復期リハ病棟では脳卒中を中心に、脊髄損傷、整形外科疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションを行っています。 一般病棟では維持期のリハビリテーションの他、外来に定期受診しているかかりつけ患者の入院治療も行います。 外来では地域の病院として、高血圧、糖尿病などの内科疾患患者の診療にもあたります。 	<ul style="list-style-type: none"> リハ科病棟はありませんが、各科からの依頼を受けた患者の診察、リハ処方、経過のフォローアップを行います。 神経疾患、整形外科疾患、循環器疾患のリハが多く、近年はがんリハやICU患者のリハも増加しています。

研修目標

リハビリテーションについての理解を深め、下記の技能を取得する。また、さまざまな疾患（脳血管障害、頭部外傷、切断、発達障害、循環器・呼吸器障害、神経筋疾患、骨関節疾患など）やさまざまな障害（嚥下、排尿、痙縮、廃用症候群、褥瘡など）に対する基本的な病態を理解するとともに、それらへのリハビリテーション治療を身につける。

研修可能技能

理学療法、作業療法、言語療法の処方および指導、自分でも実践できる能力。神経生理学的な手法（筋電図、誘発電位など）。CTやMRIなどの画像読影および嚥下造影、嚥下内視鏡、膀胱内圧測定などの実施。歩行解析および適切な義肢装具の処方・チェックアウト。家屋改修、必要な社会資源の適切な判断能力。



取得できる専門医資格技能

- ・日本リハビリテーション医学会 専門医 (3年)
- ・日本温泉気候物理医学会 温泉療法専門医
- ・日本脳卒中学会 認定脳卒中専門医
- ・認定臨床医
- ・温泉療法医
- ・日本心臓リハビリテーション学会 指導士

特徴

充実したスタッフ（リハ専門医 12名）による指導のもと、脳卒中、骨関節疾患、神経筋疾患、がんのリハに従事できます。回復期（霧島リハセンター）や急性期（本院）のリハはもちろんですが、霧島リハセンターの外来では維持期のリハに従事することも可能です。

霧島リハセンターの外来は内科も標榜しており、高血圧、糖尿病などの診察・治療にも対応する能力を習得できます。地域医療や在宅医療を目指す方にも技術や知識の維持、向上が可能です。

研究・発表の指導・協力により、専門医や学位の早期取得をサポートします。

研修参加条件

特にありません

研修施設

鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター（霧島市牧園町）、鹿児島大学病院（鹿児島市）藤元総合病院（都城市）、クオラリハビリテーション病院（さつま町）、恒心会おぐら病院（鹿屋市）熊本託麻台病院（熊本市）、熊本機能病院（熊本市）

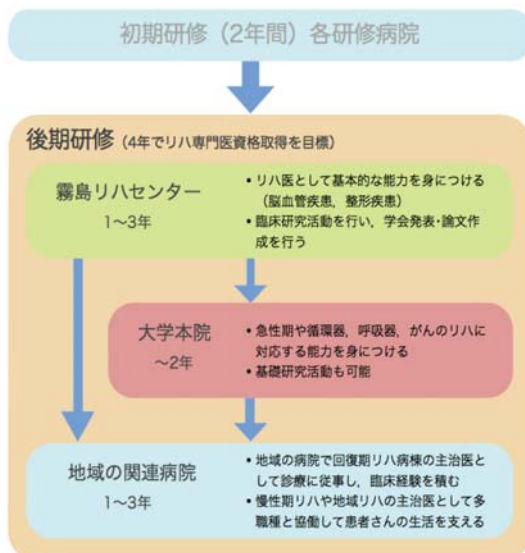
※いずれも日本リハビリテーション医学会研修施設

研修期間

研修者の希望に応じますが、3～4年が目安です。

研修プログラム

初期研修終了後、医員としてリハ科で臨床修練を行い、リハ科専門医や認定臨床医を目指します。



まず霧島リハセンターでリハ医としての基本的な診断・治療技術を習得します。

その後、大学病院本院や関連病院でさらに臨床経験を重ね、急性期疾患やがんのリハ、小児リハや地域リハなどリハ科専門医として必要な能力を身につけます。

研修病院の症例実績

手術・症例	病院名	霧島リハセンター（入院）	鹿児島大学病院（紹介数）
脳血管疾患		150例/年	
骨関節疾患		20例/年	
神経筋疾患		15例/年	
循環器疾患		10例/年	
急性期リハ			2200例/年

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	1	(0)	なし
卒後4年目	0	(0)	なし
卒後5年目	1	(1)	なし

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 3～4名

研修と大学院の関係

基本的には卒後3年目に大学院入学を勧める。

大学院中の学外研修（国内外を問わず）は、できる限り希望を尊重する。

処 遇

大学病院の医員としての待遇

研修終了後の進路

日本リハビリテーション医学会専門医を取得後は、各自希望の進路をとる。

特に定められた進路の規定はない。

指導医・専門医

日本リハビリテーション医学会 専門医（35名） 認定臨床医（40名）

日本温泉気候物理医学会 温泉療法専門医（8名） 温泉療法医（10名）

日本内科学会 認定医（4名） 日本心臓リハビリテーション学会 指導士（1名）

義肢装具等適合判定医（身障者福祉法15条指定医）（25名） 日本医師会認定産業医（2名）

※大学内外の合計人数

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科運動機能修復学講座リハビリテーション医学

霧島医局 霧島市牧園町高千穂3930-7 TEL:0995-78-2538

桜ヶ丘医局 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL:099-275-5339

担当 宮田隆司（医局長） kiririh@2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

